

衣類もリユース

舞鶴市の家庭から排出される可燃ごみの中には約4%の衣類や布が含まれ、重量にすると年間約500トンになると推計しています。

こうした衣類のすべてをリユース、リサイクルできるわけではありませんが、少しでも衣類を『ごみにしない』取り組みを進めるため、衣類の回収ボックスを設置しています。



タンスの中で古びていきます

日本では1人あたり年間18着の衣類を購入し、15着の衣類を手放し、35着の着ない服を保管しているそうです。

1枚の服にも、こんなに資源が！

服1着の製造では、255本分のペットボトル製造に相当するCO2を排出し、お風呂11杯分の水を使用しています。

衣類のリユースは環境にやさしい取り組みです

※出典：環境省「サステナブルファッション」HP

どんなものが回収ボックスに出せますか？

- Q ボタンが取れていても大丈夫ですか？
A 大丈夫です。状態に応じてリユース、リサイクルされます
- Q クリーニングに出す必要はありますか？
A タンスやクローゼットに入っている状態のままでOKです。
- Q 冬物衣料でも出せますか？
A 大丈夫です。ぜひ出してください。
- Q シミ、汚れ、破れのあるものでも大丈夫ですか？
A 多少であれば大丈夫ですが「まだ着ることができる」ものを出してください。
- Q 子供服でも出せますか？
A 回収ボックスにも出すことはできますが、子供服については、リサイクルプラザでも「子供服の募集、無料での提供」の取り組みを実施していますので、ぜひご協力ください。